

北 海 道 文 化 賞

よし だ ごう すけ 吉 田 豪 介

昭和37年、北海道美術ペンクラブ結成に参加し、同クラブの同人として、北海道の本格的な美術専門誌「美術北海道」、「美術ペン」の編集に係わるとともに、多くの新聞や美術雑誌で論考を発表し、永年にわたり美術評論における活動を通し、北海道美術の発展に寄与している。

また、市立小樽美術館長として、多くの企画展等を開催し、北海道の主要な美術館の作品選定委員を務めるなど、北海道美術の研究と芸術文化の振興に大きく貢献している。

- S 36 新聞等で展覧会評を書き始める
- S 37 北海道美術ペンクラブ結成
- S 46 「THE VISUAL TIME」展(札幌時計台ギャラリー) 企画
- S 48 「連鎖展〈12稜空間〉」展実行委員会代表
12稜空間集団として北海道芸術新賞受賞
- S 56 さっぽろ文庫17「札幌の絵画」共同執筆
- S 57 さっぽろ文庫21「札幌の彫刻」共同執筆
- S 58 最初の著書「北海道美術をめぐる25年」出版
- S 61 国際展「プリントアドベンチャー'86」(道立近代美術館) 企画
- H 2 美術評論家連盟会員
- H 6 「札幌アヴァンギャルドの潮流」展実行委員会代表 (道立近代美術館)
- H 7 「北海道の美術史 異端と正統のダイナミズム」出版
- H 8 市立小樽美術館長に就任 (～H18)
北海道教育大学非常勤講師 (～H16)
- H 10 北海道文化奨励賞受賞
- H 16 札幌市芸術文化財団理事
- H 17 道新選書41「道展・全道展・新道展 創造への軌跡」出版
- H 19 「吉田豪介・美術の散歩道」を読売新聞(道内版) に連載 (～H23)